



日本遺産認定記念展

400年の歴史の扉を開ける旅

～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～

STORY

越前・福井では、中世期に地方に生まれ、大量の石を用いて計画的につくられた都市が今も独特の空間を醸し出しています。また、近世期の城下町では、風景に溶け込んだ美しい青色の石が天候によって街並みの色合いを変化させ、自然の力が大地を階段状につくり上げた街の中心部には石の壁が続きます。様々な形に姿を変えて時代を越えてきた石が私たちを出迎える越前・福井は、日本人と石との共生の歴史や屈指の石づくり文化を体感させてくれる地です。

エントランスロビーでの展示

エントランスロビーでは全体のストーリーや構成文化財をパネルで紹介します。



福井城址



白山平泉寺旧境内 石畳道



養浩館庭園

提供：福井市

展示室の展示

中世の一乗谷朝倉氏の城下町での石文化から近世の福井城下での石文化を重要文化財をはじめとする実物資料を基に紹介します。

諸国名橋奇覧 糸ちぜんふくみの橋

福井県立美術館 蔵



半石半木の九十九橋が描かれた、葛飾北斎唯一の福井を題材とした作品！

8月31日(土)まで公開



石灯笼



山城の鬼板



石鬼瓦 福井市立郷土歴史博物館 蔵
近世のまちづくりを象徴的に示す、笏谷石製の鬼瓦！

福井へのアクセス

車利用 東京から福井ICまでは、東名高速道路経由もしくは関越自動車道経由で約6時間30分。大阪から福井ICまでは、名神高速道路・北陸自動車道経由で約3時間。名古屋から福井ICまでは、名神高速道路・北陸自動車道経由で約2時間。

JR利用
東京から 東京駅 東海道新幹線ひかり(米原駅より特急しらすぎ)約3時間30分。
東京駅 北陸新幹線かがやき(金沢駅より北陸本線特急)約3時間30分。
名古屋から 名古屋駅 東海道新幹線ひかり(米原駅より特急しらすぎ)約1時間50分。
名古屋駅 特急しらすぎ約2時間。
大阪から 大阪駅 特急サンダーバード約1時間50分。

飛行機利用 石川県の小松空港が空の玄関口。東京(羽田・成田)札幌・仙台・福岡・那覇からアクセスできます。
●小松空港(連絡バス(9便/日)で約60分)→JR福井駅
●小松空港(バスで約12分)→JR小松駅(JR北陸本線で約30分)→JR福井駅

一乗谷朝倉氏遺跡資料館へのアクセス

JR利用 JR福井駅(越美北線)→(15分)一乗谷駅下車 資料館まで徒歩5分(資料館に無料貸出自転車あり)
バス利用 京福バス福井駅西口⑤のりば(一乗谷東郷線)→(25分)朝倉資料館前下車
京福バス福井駅東口②のりば「一乗谷朝倉特急バス」→(16分)朝倉資料館前下車
車利用 北陸自動車道 福井IC→国道158号線(ICから10分)
東海北陸自動車道 白鳥西IC→国道158号線(ICから90分)

県内の公共交通機関の情報は、こちらから

